



日本鋳物中子工業会
 会長 伊田 重春

ごあいさつ

会員及び賛助会員の皆様、平素は当会の活動にご協力、ご賛同を頂き、まずは御礼申し上げます。

今年は、我々製造業に携わる者にとっては、非常にショッキングな出来事が立て続けに起こっております。熊本・大分県の震災、VWの排ガス不正、自動車部品関連業者の工場の事故による

部品供給停止、最近では三菱自動車・スズキ自動車の燃費改ざん事件等々非常に多くの事故・事件がありました。その都度、関係各位の皆様は大変なご苦労をなさっている事とお察し致しております。

また、中小・小規模の製造業者では深刻な人材不足となっております。一部では50年後には人口が8000万人にまで減少するような報道もなされています。人口減少が著しく進んでいる現状で、どう労働力を確保

するかが課題となっていくでしょう。

しかし、悪い事ばかりではなく、現在我々を取り巻く製造業は少しずつですが景気回復の傾向にあります。大手企業の設備投資額も2015年度は8.3%増、2016年は10.5%の増の計画となるようです(日経新聞調べ)。7年連続増がつづいており、これは明らかな景気回復の兆しと思われれます。そういった状況の中で我々は何をすべきかが直近の課題となりそうです。今以上の品質の確保、人材の確保及び従業員教育、設備の老朽化による設備投資、企業様によっては事業継承のための後継者問題等々、挙げればキリがありあせん。弊社も例外なくこれらの問題に直面しておりますが、少しずつでも解決していきたいと思っております。

会員の皆様も同じような問題があると思います。当会がより一層の情報交換の機関となり、問題解決の糸口となれる様、これからも活動してまいります。当会の活動にご協力・ご賛同をお願い致します。

最後になりましたが、当会の会員の皆様方のますますのご発展とご健勝を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

業界動向

7月の常任理事会で報告があった工業会内での動向紹介します。

◎景気動向ですが、自動車業界は地域によって生産の差が顕著に表れています。中部地方は横ばい、一部山陽地方では過去最高の生産になっているところもあります。それ以外ではリーマンショック並みに生産が落ちているメーカーもあるようです。建機関連は一時期より若干戻ってきているようですが、低水準で横ばいの状況です。また、産業機械などは減産傾向にあるようです。

◎愛知製鋼の爆発事故以来、各メーカーでは安全の強化の動きが出ています。中子メーカーへ安全対策の要求も高まっています。

◎熊本地震で被災された、(株)ユニオンパーツ工業では復旧が進みだしているようです。建物設備には3分の2が国から補助されるようで、申請している最中です。まだまだ生産までは時間がかかるようです。

下請け法(下請代金支払遅延等防止法)について

今年6月に中小企業庁が中小企業・小規模事業者のための価格交渉ノウハウハンドブックを作成しました。この冊子には取引条件の改善に向けて法令違反となる取引行為や必要な価格交渉ノウハウが掲載されています。ここでは代表的な事例を紹介いたします。

- ① 量産時と同じ価格で、補給品の販売を要請が来た場合
- ② 型を無償で保管・管理させられている
- ③ 合理的な理由なく、価格低減を要請されている
- ④ 原材料価格やエネルギーコストの高騰時、取引価格に反映してもらえない
- ⑤ 少量発注にもかかわらず、大量発注を前提とした単価を設定している
- ⑥ 合理的な理由なく、指値発注をされている
- ⑦ 本来発注者が負担すべきコストを受注者が負担している
- ⑧ 割引困難な長期手形を交付されている
- ⑨ 製品の図面などの技術情報を無償で提供している
- ⑩ 受注者の非によらない事後的な仕様変更や工程追加に要する費用を受注者が負担している

中小企業庁ホームページ内に詳細が掲載されています。ハンドブックもダウンロードできますので是非興味ある方は調べてみてください。

問い合わせ先：中小企業庁 下請かけこみす 0120-418-618
 WEB：<http://www.zenkyo.or.jp/kakakusupport/index.htm>

BCP(事業継続計画)、レジリエンス認証について

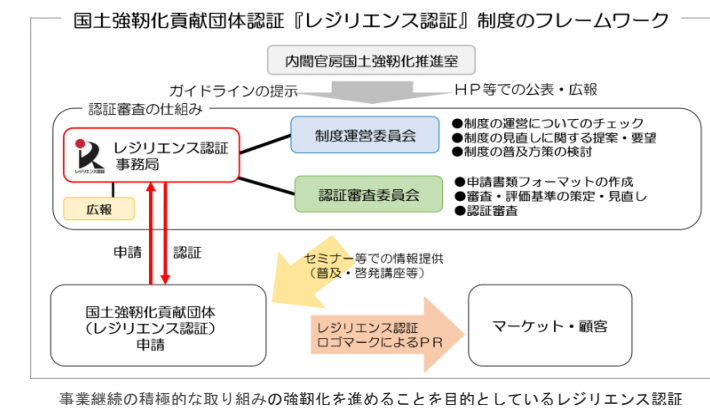
BCPとは「Business Continuity Plan」の略で「事業継続計画」と訳します。地震などの災害で事業が危機的状況に陥る場合を想定し、早期復旧のための体制、活動する内容、手順などをあらかじめ決めておく計画のことです。東北の震災以降BCPの注目が高まっています。今回の熊本の震災でも今後企業のBCPへの取り組みを取引先が判断基準にしている傾向にあります。

＜榊原工業(株)での取り組みのご紹介＞

2年かけてBCPを策定され、レジリエンス認証もクリアされました。レジリエンス認証とは国土強靱化によりBCP策定されている会社の中で、より高度な計画を策定した会社へ優先的に災害時補助金を分配することを想定してできた認証です。それに加えて榊原工業では災害の際に工場屋上に1400人避難できるスペースを用意して地域住民にも避難してもらえるように西尾市一色町と災害協定(災害時一時避難場所の提供)を結ばれています。他にも災害時の代替え施設として富山工場との連携を計画され、実際に作業者を定期的に教育訓練しています。BCP計画を策定していくなか、自社の組織力や仕組みづくりをしていくことで本来の生産活動にも役立つということが分かったそうです。

生産とは関係ない取り組みですが、今後の中小企業にもこういったリスクマネジメントを取引先が要求される時代になってきていると感じました。

(担当 松下晴彦)



新東工業(株)ご紹介

新東工業(株)では中子造型から砂再生までのシステムを提案されています。中子造型はシェルモールドプロセス、コールドボックスプロセス、無機、ライトコアの4種類を取り扱っています。

詳しくは新東工業(株)までお問合せください。



災害時の重大な危機を回避するためにBCPの策定が必要

常任理事会報告

前回の常任理事会で話し合われた内容を取りまとめました。

＜総会の開催場所決定時期を前倒し＞

総会場所を決定するのに開催の1年前にする案が話し合われました。総会時に事業計画に掲載出来るよう努力します。

＜中子ニュース発刊の遅れについて＞

事務局の補佐を若手がしていくことで、中子ニュースを年数回発刊する案が話し合われました。業界として世代交代を考え若い人に色々やってもらうことも必要と意見がでました。

＜技能実習生について＞

制度の改定に伴い対応の検討に入りました。

＜事務局について＞

事務局は会則でクロタ精工(株)内になっています。今後を踏まえて体制や会則の見直し、事務局の負担軽減を再検討していく必要を話し合いました。

◆編集後記◆

一年半ぶりの発行となり申し訳なく思っています。今回は(株)松下工業の専務、松下晴彦氏に編集委員として担当してもらいご尽力いただきました。

会員の皆様のご意見・ご希望をお待ちしています。
 事務局